

## 音楽史 免許法内容変更から 10 年

音楽科・岸 啓子

### 1. 授業の概観

免許にかかわる選択必修科目で、目的は音楽の歴史を概観し、その基礎知識を得ること、内容は、西洋音楽史主体に日本の伝統音楽と民族音楽も含めたものである（免許指定）。音文カリキュラムマップでは、基礎に位置づけられている。過去には通年 2 期であったが、現在は 2 年生後学期の半期である。

授業の難しさのひとつは音楽について言葉で語る点にあると常々考えている。音楽を表現・イメージできる言葉を磨くために、学生自身の発表は貴重な体験となるので、作曲家・作品の調べ学習とその発表を課している。

### 2. 授業評価法

質問紙による 5 段階評価法による。質問項目は共通教育のモデルに基礎を置き、銃魚の特徴にあったものを加えた形式である。

#### 5 段階

5 強くそう思う      4 そう思う      3 どちらとも言えない      2 そう思わない      1 強くそう思わない

- 問 1 あなたはこの科目にきちんと取り組みましたか。
- 問 2 あなたの出席状況は良好でしたか。
- 問 3 授業の目的は授業の中で明確でしたか。
- 問 4 授業内容・規模は適切だと思いましたか。
- 問 5 LD や CD、ビデオ等の使用は適切でしたか。
- 問 6 教員の説明はわかりやすかったですか。
- 問 7 授業の中で発表や質問の機会は与えられましたか。
- 問 8 発表に意欲的に取り組みましたか
- 問 9 この授業のレベルはあなたにとって適当でしたか。
- 問 10 この授業により、自分の考えが培われたり、得るところがありましたか。
- 問 11 この授業を受講したことが、今後音楽・美術等を学習する上で、有意義であると思われませんか。
- 問 12 私語がなく（少なく）、授業の良好な雰囲気は保たれていましたか。
- 問 13 この授業のシラバスをよんだことがありますか。

ますか。

- 問 14 初年度（1 年次）にこの授業があるほうがよいと思いませんか。
- 問 15 この授業でよかったと思われる点があれば書いてください。（自由記述）
- 問 16 この授業で改善する方がよいと思われる点があれば書いてください。（同上）

### 3. 授業評価結果

問	5	4	3	2	1
1	2	13	7	3	0
2	15	3	4	3	0
3	3	16	3	2	1
4	3	13	6	1	2
5	4	12	6	2	1
6	3	13	3	4	2
7	13	7	2	1	2
8	11	10	1	2	1
9	2	9	8	5	1
10	7	14	3	0	1
11	10	12	3	0	0
12	7	12	5	0	1
14	3	8	6	6	2

シラバスを読んだ 16、読んでいない 9  
2 年生 14、3 年生 9、4 年生 2、  
専修 10、音文 8、不明 7

### 4. まとめ

一昔前の免許科目西洋音楽史から音楽史（日本の伝統音楽・諸民族の音楽を含む）に変化して 10 年が経過した。しかしなかなか西洋・日本・諸民族のバランスが掴み切れず、毎年試行錯誤の繰り返しである。今年度は現代にこだわりすぎ、日本・諸民族が不十分であったと反省している。

作曲家・作品をグループで調べて発表したことは、種々の点よかった、というコメントが多く、発表に意欲的に取り組んだとの回答は 25 名中 22 名あった。学生のプレゼンはかなり充実していた。ただ、自由記述を見る限り、発表・レポート・テストの 3 つを課したことは、受講生にとって過重な負担だったようで、再考したい。説明のわかりやすさ・授業レベルでそれぞれ 6 名 1・2 がいたので、理解の確認を怠らないようにしたい。